

加西市新総合計画「市民提言」用紙

平成 21 年 10 月 14 日提出

《提言内容》

(1) 求める都市像

「人と未来をつなぐ まち 加西」

(2) 加西市のまちづくりへの提言

総合計画には豊かな暮らしを目指すため、「人に投資し、人と人をつなげていく」視点が重要です。4つ提案します。

「みんなで育て隊」(未就学児世帯対象)です。出産入院中に職員が訪問しアンケート(家族構成・仕事・不安など)と育児メール会員の登録を勧め、「つながり」を継続します。母親には24時間体制の育児メール相談(#8000 医療電話相談とは別)の需要があるはず です。

「2度目の成人式」(40歳対象)です。市が提供するの、告知・会場・集合写真撮影(後日送付)です。運営スタッフに中学の「トライやるウィーク」を取り入れると世代間交流も期待できます。

「みんなで暮らし隊」(50歳代対象)です。アンケート登録(職種・特技・趣味)で市民個別の得意分野をジャンル分けし、生涯教育やイベントの「個別」案内、その市民が得意と思われる分野の行政課題の会議・公募(事業仕分け・総合計画の提言など)への「個別」依頼により、高齢者外出促進、いきがづくり、斬新なアイデアの発掘につなげます。

「みんなで歩く日」(全世帯対象)です。コースは毎回変えて、観光地、歩行者天国、北条鉄道をいれたりします。市内外に「歩く観光」をアピールします。JRの協賛も期待できます。

厳しい財政事情の中、未来への可能性を無限につなげる投資、子ども関連の予算確保をお願いします。